

ビジネス系科目

エンジニアのための簿記実践特論

2単位 Special Topics in Practical
Industrial Bookkeeping for Engineers

工企業の価値生産活動を貨幣計数で測定し、経営活動に必要な原価情報や財務情報に加工する技術を「工業簿記」という。「工業簿記」によってもたらされる原価情報は、経営計画作成をはじめ製品価格設定や原価管理の基本資料となるため、経営管理者や技術者にとって重要な情報である。本科目では、価値生産活動の過程において、原価を認識・測定・記録・報告できるとともに、対処方法を検討できる力を養うことを目標とする。

目標：1. 工企業における製品生産工程と製品製造原価の関係が理解できる。2. 製品製造原価の発生過程を複式簿記手法で記録し、原価情報および財務情報を作成することができる。3. 注文生産および見込生産における製品製造原価計算（個別原価計算）を理解し、原価情報を作成することができる。4. 標準原価計算による原価管理のための原価差異分析ができる。

ビジネスとプロジェクトマネジメントⅠ 1単位 Business and Project Management I

企業活動の基本活動のひとつであるビジネスプラン策定の考え方や評価の方法を経営戦略、企業の社会的責任（CSR）の視点より理解した上で、プラン実現の方法としてプロジェクトマネジメントの基本的な考え方を学ぶ。特に、企業から提供されるプロジェクトテーマについて、時間・コスト・品質・人的資源・コミュニケーションなどの観点からのプロジェクト計画・立案と進捗管理、リスクマネジメントを行い実現行動案としてプロジェクトテーマ提供企業に報告する。「ビジネスとプロジェクトマネジメントⅡ」と連続履修することを強く推奨する。

目標：1. 社会や企業におけるプロジェクトの意義が説明できる。2. プロジェクトの価値を、経済的かつ社会的視点より評価できる。3. プロジェクト具体化の計画手法（PMBOK）を理解し、計画案としてまとめることができる。4. プロジェクト実行の管理手法を理解し、問題点の把握とその対応ができる。5. 企業から提供されるいくつかの具体的な事例について、プロジェクトを提案し、また提案されたプロジェクトを評価・判断できる。

ビジネスとプロジェクトマネジメントⅡ 1単位 Business and Project Management II

「ビジネスとプロジェクトマネジメントⅠ」で検討した企業提供のプロジェクトテーマについて、テーマ提供企業とともに、さらに実践への検討を進める。特に、プロジェクトテーマ提供企業との協働を目指したプロジェクトプランについての時間・コスト・品質・人的資源・コミュニケーションなどの精度向上を目指す。本科目は、「ビジネスとプロジェクトマネジメントⅠ」の修得（見込）者が対象。

目標：1. プロジェクトプランを再検討。2. プロジェクトの価値を、経済的かつ社会的視点より再評価できる。3. プロジェクト具体化の計画手法としてPMBOKを実践する。4. PMBOKの管理手法を理解し、問題点の把握とその対応ができる。5. 複数の企業から提供されるCSRの取り組み事例を参考に自らのプロジェクトプランの再評価ができる。

ファイナンス特論

2単位 Finance

中央銀行を中心とした金融システム全体と、個別企業の資金調達・運用などの金融行動を理解し、意思決定に応用できる知識と能力を養う。授業では、金融市場と金融商品を軸に、金利などの変数に係る理論、金融政策の実際、企業の資金調達と運用の理論などを学び、エンジニアとして必要な金融知識を確立することを目指す。

目標：1. 中央銀行の役割と金融政策を理解する。2. 金融市場に関する理論を理解し、金融状況を説明できる。3. 金融市場の構造と変動について理解する。4. 企業ファイナンスに関する基礎理論を理解し、企業の状況を把握して資金調達と運用計画を立てられる。

イノベーション特論Ⅰ

1単位 Special Topics on Innovation

イノベーションとは何なのか、イノベーションはいかにして起きたか、どうすればイノベーションを起こせるのかなどイノベーションを論ずる書籍が数多く出版されており、イノベーションに関する社会の期待の高さを伺わせる。本科目ではさまざまなイノベーション論を俯瞰し、イノベーションの事例研究を行い、イノベーションに関する知識や概念を自分なりに整理することで、自らの専攻を通じてイノベーションを実践するために必要となる知識や概念の修得を目指す。

目標：1. イノベーション論に関する俯瞰ができる。2. イノベーションの事例のいくつかを説明できる。3. 自らの専門領域におけるイノベーションのための課題を説明できる。4. 自らの専門領域におけるイノベーションのための組織活動支援に関して提案ができる。

ビジネス戦略特論

1単位 Business Strategy

エンジニアが自らの強みである“技術”をビジネスで“如何に活かすか”を考える Management of Technology (MOT) について、その基幹学問分野である“経営戦略論”を通じて学ぶ。具体的には、伊丹敬之著『経営戦略の論理 第4版』をベースに①経営戦略の基本概念や②ビジネスを取り巻く5つの要因と戦略適合に触れ、経営戦略の理論を体系的に習得する。同時に、企業において実際にあったMOTのケースに触れながら、社会の現場で直面するさまざまな問題の本質を洞察する訓練をする。

目標：1. 技術を社会で活かす上での経営戦略の意義が説明できる。2. 経営戦略の基本概念について説明できる。3. ダイナミック適合の論理について説明できる。4. ケースから「いい戦略」のポイントを探ることができる。5. 現場の問題点の本質を探ることができる。